

第4章 ページ出力(2)

Web応用

第3回 Webページのコンテンツの制御1

第4章

ページ出力(2)

第4章 学習目標

HTMLの要素を出力する方法を学びましょう。

タグの出力

私たちは文字や数字の出力の方法を学びました。それ以外の種類の値の出力を演習しましょう。

1. ファイルを準備

ファイル名は「sample3-4.html」です。

■ ソースコード

```

1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3   <head>
4     <meta charset="utf-8">
5     <title>サンプル3-4</title>
6     <style>
7       /*CSSのエリア*/
8     </style>
9   </head>
10  <body>
11    <!-- コンテンツのエリア -->
12    <p id="box1">こんにちは</p>
13    <script>
14      //JavaScriptのエリア
15      var box1 = document.getElementById("box1");
16      box1.innerHTML = "おはよう！";
17    </script>
18  </body>
19 </html>

```

2. ブラウザで確認

ファイルを保存して、ブラウザで確認しましょう。「おはよう！」と表示されています。

3. タグを出力

それでは、次のソースコードに変更しましょう。値にタグの記号が含まれています。

■ ソースコード

```

16 box1.innerHTML = "<h1>おはよう！</h1>"

```

解説：

- h1タグは、ブラウザ側の設定で文字を太く、大きく表示します。

ファイルを保存してブラウザで閲覧してみましょう。太く、大きくなりました。このことから、「innerHTMLの値にはタグが有効」ということがわかりました。



4. 様々なタグ

様々なタグで試して、タグが有効であることを確認してみましょう。


`<h1>`、`<h2>`、`<h3>`、`<h4>`、`<h5>`、`<h6>`、`<p>`、``、`<i>`、``、`<u>`等

解説：

- この章では、ブラウザでの表示が変わるタグでチェックしましたが、そのほかの様々なタグも含めることができます。

私たちは、ページ内のコンテンツやタグをJavaScriptでコントロールできるようになりました。

画像を表示

タグの中には、画像を表示する要素があります。img要素で画像を表示してみましょう。

- ファイルは「sample3-4.html」を使います。
- 適当な画像ファイルを準備してください。ソースコードのファイル名はそれにあわせて変更してください。

1. 以下のコードに変更する

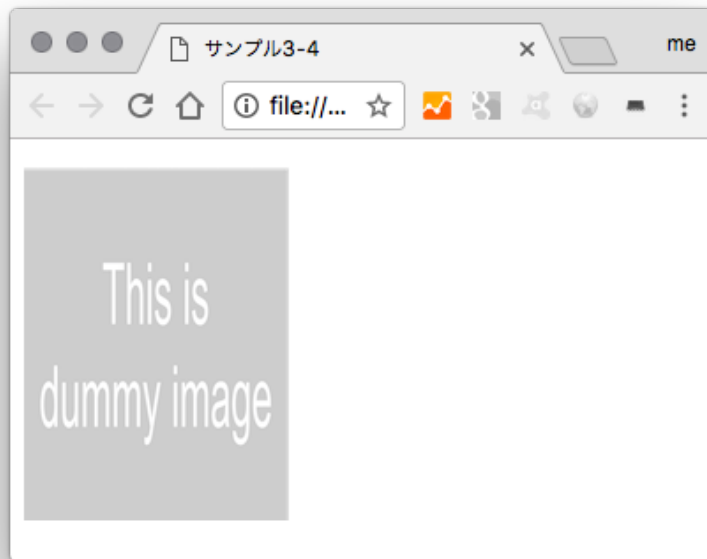
画像のタグに変更します。

■ ソースコード

```
16 box1.innerHTML = "<img src='sample.png'>"
```

2. ブラウザで確認する

ファイルを保存してブラウザで確認してみましょう。



解説：

- ・ は画像を表示します。
- ・ .innerHTMLにはタグもコンテンツも文字列として代入するので、全体を「"(ダブルクォーテーション)"」で囲みます。タグでのファイル指定は「src="~.png"」と指定します。

■ 誤ったソースコード

```
16 box1.innerHTML = "<img src='sample.png'>";
```

しかし、すでに「"」が使われているためこのコードは正常に動作しません。
そこでファイル指定は、「' (シングルクォーテーション)」を使用しています。

■ 正しいソースコード

```
16 box1.innerHTML = "<img src='sample.png'>";
```

また、外側が「'」内側が「"」でも正常に動作します。

■ 正しいソースコード

```
16 box1.innerHTML = '';
```

練習問題1

問題

【クイズ】 択一選択（即解答表示）

「.innerHTML」で文字や数字を扱うことができます。それでは「タグ」は扱うことができますか。

- ☐ できない
- ☐ できる

練習問題1の解答

正解は、**できる** です。

- 「.innerHTML」では、文字や数字を扱うことができるので、「タグ」も扱うことができます。

「.innerHTML」のおかげで、私たちは、Webページの一部や全体を自由に書き換えることができるようになりました。

第4章 まとめ

数や文字列と同様に、HTMLの要素をタグを記述することで出力することができ、その方法を学びました。

第4章 終わり

Web応用

第3回 Webページのコンテンツの制御1

第4章

ページ出力(2)

おわり

